



2位・鎌田サッカースポーツ少年団



3位・フェローズ

個人技術の高さ光る

少年サッカー 市民タイムス・カガミ杯

第34回市民タイムス 上初の連覇を飾って幕 少年サッカー新人戦・ を閉じた。試合運びに カガミカップは、松本 荒削りな面は見られた 山雅FC・U-11が史 力が、新人戦らしく伸び 通してプレッシャーを

が徹底された点がどこ よりも勝った。今後 向け、各チームが見習 いた部分だった。味 方への指示など、コー チングもきっちりして 術は「かなり上がって

試合結果

準々決勝

松本山雅 4-0 南箕輪

茅野玉川 5-0 長野少年

鎌田 1-0 長野カ

フェロー 2-1 Lau

ズ 2-1 e

準決勝

松本山雅 12-0 茅野玉川

鎌田 4-3 フェロー

ズ

3位決定戦

フェロー 2-1 茅野玉川

ズ

決勝

松本山雅 11(7)4(0)0 鎌田



最優秀選手 井上健志君 (松本山雅)

「相手のボールを奪って自分 でシュートに持ち込めたことが良か った」。松本山雅の井上健志 (山辺小 5年)は、中盤でチームを支えた。大 会を通して6ゴール。主将として攻 守の要となった。目標はプロ選手に なってワールドカップで優勝するこ とで「選ばれたのはうれしいし、自 信につながる」と充実感に包まれた。



優秀選手 高山恋寿君 (鎌田)

「取れると思っていた なかった。うれしい」。ボラ ンチとして奮闘した鎌田の 高山恋寿 (鎌田小5年) = 写真右 = は、受賞を素直に 喜んだ。大会を通して粘り 強く戦えたといい「少ない チャンスを生かした」と銀 メダルを誇った。

決勝で激しく競り合う選手たち(松本山雅 鎌田)



山雅 高い攻撃力で栄冠 6試合で47ゴール奪う

松本山雅は2日間で6試合を戦い、1試合平均 8得点に迫る47ゴールを挙げた。他チームを1枚も2 枚も上回る実力を見せ、堂々と頂点に立った。

攻撃面以上に小林雄太監督が「いい結果だった」と 特に評価したのが、無失点で終えた点だった。トップ チームと同じく全員攻撃全員守備で粘り強く戦うこと を求めたといい、球際の競り合いを含めた1対1の強 さが導いた成果だった。

トーナメント戦特有の緊張感による硬さを乗り越え た経験も得がたかったという。小林監督は「プロを意識 させながら練習している中、タイトルをつかめたの は収穫」と締めくくった。

「(吉田益孝競技 委員長)。ボールをさ ばいた後に次に受ける スペースと視野をパッ クステップで確保した り、狭いエリアで足裏 でボールを引きながら 方向転換して優位な体 勢をつくりたりするな ど、目を引くプレーも 多かった。一方、セッ トプレーは新人戦の点 を差し引いても全体的 に甘さが見られた。 8強に残った中信勢 は3チームと、例年に 比べてやや寂しい結果 だった。そんな中、鎌 田は単一小学校での編 成ながら2年連続で決 勝に進むなど、健闘が 光った。」

(肥後健一)